

竹の子だより

第89号 平成24年7月28日(土) 発行

発行責任者 坂井 正志

編集 明星会広報委員会

発行 社会福祉法人 明星会

〒250-0052 神奈川県小田原市府川 752-5

TEL 0465-32-7740 E-mail info@takenokogakuen.jp

FAX 0465-32-7741 HP <http://www.kanagawa-id.org/takenoko/>

※ 利用者の個人名・写真の掲載についてはご本人とご家族の了承を得ておこなっています。



今月の絵: T・Teraoka

平成二十三年 度 事業報告

【平成二十四年度 第一回評議員会】及び【平成二十四年度 第一回理事会】が、平成二十四年五月二十四日、新設しました『ハッピーキッチン』にて開催されました。

当日は評議員会・理事会開催前に、穴部駅前に新設した『メルシーボク』を見学、その後ハッピーキッチンへ移動しパン工房ハッピー利用者の為の給食設備・厨房等を見学しました。

議 案

議案第一号

平成二十三年 度 事業報告

- ① 社会福祉法人 明星会
- ・ 法人運営の概況

神奈川県補助金及び福祉医療機構の借入金で新築した「作業棟」は、平成二十三年四月より「ヴィーホール」と命名し、有効に活用しております。「パン工房ハッピー」の懸案であった給食の提供について、隣り空き店舗を借り、厨房及び食堂として利用できるよう、改修しました。

「竹の子ホーム」は平成二十四年四月「メルシーボク」を開設する為、準備をしてまいりました。

- ・ 役員会開催状況

理事会 四回開催

監事会 二回開催

評議員会 二回開催

- ② 竹の子学園

利用者の人権を尊重し、利用者が望む「良質なサービス」とは何かを常に追求し、職員と家族が一体となつて協力し、利用者が充実した毎日を送れるよう、日々努力してまいりました。また、利用者のニーズに対し自己選択・自己決定を重視した「個別支援計画」を作成し、利用者の豊かな生活を追及してまいりました。

- ・ 主な行事報告
- ・ 防災実施報告

- ③ 竹の子学園 短期入所

・ 定員四名 年間一三二〇ケース

- ④ 竹の子学園 日中一時支援

・ 小田原市 年間二〇九ケース

・ 南足柄市 年間 七一ケース

・ 真鶴町 年間 六一ケース

- ⑤ 竹の子ケアセンター

祝日も稼働することで稼働日を増、活動スペースを拡充し、活動プログラムを確立しました。

- ・ 実施行事報告

- ・ 利用実績について

生活介護 年間三三三二ケース

自立訓練 年間一三三二ケース

- ・ 作業活動報告

- ⑥ パン工房ハッピー

新規出店販売先・納品先が一件増、秋の文化祭シーズンには十七施設へ出店販売し、年三回ハッピーマルシェを開催しました。

- ・ 利用実績について

年間五一三四ケース

- ・ 防災無線の設置、非常食の備蓄

- ・ 作業工賃の支給実績報告

- ・ 就労に向けての支援の実施

- ⑦ 竹の子ホーム

地域自治会との交流を深め、また地域主催の防災訓練への参加を推進、「グループホームケアホーム第三者評価」をポヌールで受診しました。

- ・ 防災関係報告
- ・ 行事等報告

・ 個別支援計画・金銭管理計画表を作成、六ヶ月に一度モニタリングを実施

- ⑧ 相談支援センターエール

- ・ 年間相談件数 一三五件

・ スキルアップ&ネットワークの開催報告

議案第二号

平成二十三年 度 決算

(決算報告参照)

議案第三号

社会福祉法人明星会

資産変更

(下記表参照)

議案第四号

社会福祉法人明星会

監査報告

資産合計	798,444,805円
負債合計	82,871,243円
純資産合計	715,573,562円

真壁監事、田代監事により五月十七日に監査を実施。平成二十三年度の事業執行状況、財産状況等の監査の結果、適正に運営されているとの報告がありました。

その他

・ 平成二十四年度 新規事業計画について

貸借対照表			
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
流動資産	201,167	流動負債	12,449
基本財産	458,598	固定負債	70,421
その他の固定資産	138,679	負債合計	82,871
		基本金	47,293
		特別積立金	232,541
		その他の積立金	62,000
		活動収支差額	373,739
		純資産合計	715,573
資産合計	798,444	負債・純資産合計	798,444

平成23年度

決算報告

* 貸借対照表は各経理区分の合算です。
(単位：千円)

社会福祉法人明星会

(単位：千円)

資金収支計算書			
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
経常支出	1,335	経常収入	1,368
施設整備等支出	0	施設整備等収入	0
財務支出	0	財務収入	0
当期資金収支差額	33		
合計	1,368	合計	1,368

事業活動収支計算書			
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
事業活動支出	1,367	事業活動収入	1,368
事業活動外支出	0	事業活動外収入	0
特別支出	0	特別収入	0
当期活動収支差額	1		
合計	1,368	合計	1,368

竹の子学園

(単位：千円)

資金収支計算書			
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
経常支出	272,484	経常収入	290,482
施設整備等支出	6,465	施設整備等収入	0
財務支出	16,579	財務収入	11,847
当期資金収支差額	6,801		
合計	302,329	合計	302,329

事業活動収支計算書			
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
事業活動支出	291,316	事業活動収入	310,470
事業活動外支出	1,629	事業活動外収入	1,587
特別支出	0	特別収入	0
当期活動収支差額	19,112		
合計	312,057	合計	312,057

竹の子ケアセンター

(単位：千円)

資金収支計算書			
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
経常支出	41,195	経常収入	54,733
施設整備等支出	309	施設整備等収入	0
財務支出	0	財務収入	0
当期資金収支差額	13,229		
合計	54,733	合計	54,733

事業活動収支計算書			
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
事業活動支出	42,210	事業活動収入	54,725
事業活動外支出	0	事業活動外収入	7
特別支出	0	特別収入	0
当期活動収支差額	12,523		
合計	54,733	合計	54,733

パン工房ハッピー

(単位：千円)

資金収支計算書			
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
就労支援事業支出	16,873	就労支援事業収入	14,996
福祉事業支出	29,328	福祉事業収入	41,349
施設整備等支出	557	施設整備等収入	0
財務支出	0	財務収入	0
当期資金収支差額	9,586		
合計	56,345	合計	56,345

事業活動収支計算書			
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
就労支援事業活動支出	17,667	就労支援事業活動収入	14,996
福祉事業支出	30,444	福祉事業収入	41,348
事業活動外支出	0	事業活動外収入	1
特別支出	0	特別収入	426
当期活動収支差額	8,659		
合計	56,771	合計	56,771

竹の子ホーム

(単位：千円)

資金収支計算書			
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
経常支出	74,205	経常収入	74,137
施設整備等支出	922	施設整備等収入	940
財務支出	0	財務収入	0
当期資金収支差額	-49		
合計	75,077	合計	75,077

事業活動収支計算書			
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
事業活動支出	75,070	事業活動収入	74,183
事業活動外支出	0	事業活動外収入	6
特別支出	0	特別収入	940
当期活動収支差額	59		
合計	75,129	合計	75,129

新ホームについて



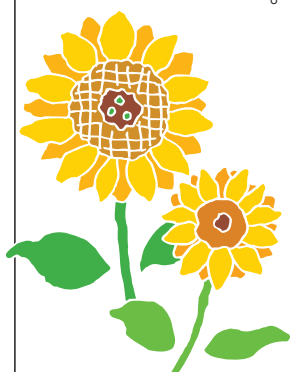
竹の子学園施設長

坂井 正志

自立支援法が施行されて五年が経ち、制度のゆくえに一喜一憂してきました。施設入所から地域移行を進めようということで、七%の施設入所定員の削減が数値目標として示され一定の評価はされました。しかし、小田原では、逆に施設入所者が増えています。竹の子学園では、六名が地域移行しましたが、六名が入所し、定員削減には至っていません。昨年より、地域移行を視野に入れた支援を行おうと、家族会でもお話をしてみました。なかなか真意が伝わりませんでした。本来に利用者は望んで竹の子学園で生活しているのか？利用者は、地域で生活する能力がないのか？そうではありません。すべての利用者が地域で生活する権利を有しており、能力も持っているのです。障害者権利条約の第十九条に、施設や病院ではなく、町の中で自分らしく生きる権利をうたっています。

利用者の希望を叶えるのが私たちの仕事なのです。何もしないで、入所定員六十名のままで運営していくのが、どれだけ楽か頭をよぎりますが、『明星会では、あおぞらプランを遵守します。』と言っておきながら、あおぞら宣言の「地域で生活したい」と言う利用者の希望を無視するわけにはいかないのです。

明星会では、物件を探していたところ、小田原で建物を提供してくださるオーナーが見つかり、具体化を始めました。来年の四月には十名の入所者に、地域移行をしていただく計画を立てました。これから人選に入りますが、利用者の意向を調査し、ご家族との話し合いも行い、ホームの見学会も実施する予定です。ホームは低くはありませんが、ぜひ前向きに検討していただきたいと思っています。



ハッピーキッチン オープン!



パン工房ハッピーの給食施設として、みんなのお腹を満たしてくれる『ハッピーキッチン』が五月にオープンしました!

川を挟んで隣の建物なので、仕事の合間の休憩時間に食事に行くというのは、まるで社員食堂のような雰囲気。働くということの練習の場であるハッピーにとつて、働く場での休憩の過ごし方や食堂を利用するマナーを毎日の食事で練習できるようになりました。

もちろん、マナーよりも何よりも一番においしい給食を楽しみにし、仕事に励んでいる方もいらっしゃると思います。

ハッピーキッチンの一階部分は食堂、二階部分は地域支援課の職員室が出来ました。将来的には職員室以外のスペースに作業室が出来る予定です。

そもそもなぜ、食堂ができたかと言いますと・・・今まで、ハッピーの給食は竹の子学園の調理室で作った物を配達していました。その給食をより利用者の皆さんのニーズに沿った食事提供ができるようにと、パン工房ハッピー単独の調理室を新設することに至りました。

ハッピーキッチンはまだまだ始まったばかりです。これから利用者の皆さんにとつて、楽しい食事の場であり、働くマナーを学ぶ場でもあるハッピーキッチンとして、充実した場になるようにしていきます。

パン工房

ハッピーに
買い物に
来た際
には
ハッ
ピー
キッ
チン
も
ぜひ
ご
覧
下
さい。

(安藤智美)



職員全体研修



第三十回職員全

体研修会を六月二十七日に竹の子学園で開催いたしました。

今年度は「明星会各事業所の概要説明、支援に関する実践報告会」をテーマとして、竹の子学園・竹の子ケアセンター・パン工房ハッピー・竹の子ホームの事業所を代表して四名の職員が発表者となり事例発表を行ないました。

今回は、各事業所のサービスや現状を把握する事で明星会の一員としての意識を高めること、日々の実践を報告し合い支援技術の向上につなげていく事を目的としました。明星会の中で職員が日々の支援を振り返り、まとめ、発表するという事は初めて行ないましたが、明星会全体で各事業所の支援方法を共有でき、今後の支援

に活かしていく事が出来る内容でした。

発表者も内容をまとめるにあたり今まで取り組んできた支援を一つ一つ振りかえり、見直す機会となり学ぶことの多い研修となりました。発表を通して、「利用者ひとりひとりに合わせた支援」「職員間での統一した対応」が支援の基本であると改めて感じました。また、職員間のチームワークの大切さを感じました。日々記録をとり、チームで話し合うことでより良い支援につながると学びました。

そして、支援員の熱い思いや支援に取り組む姿勢を見る事で自分自身を振り返ると共に、よい刺激になりました。

各事業所の支援方法は様々でしたが「利用者の方のよりよい暮らしの為に」という思いは同じであると職員全体で共有する事が出来ました。



支援の先にある利用者の方々の笑顔を思い今後支援に取り組んでいきたいと思えます。

(奥津)

スキルアップ

& ネットワーク



相談センター エール 露木とし

今年は、さまざまな想いを抱えている子どもたちの「こころ」をテーマに進めています。「児童自立支援施設」「少年院」「ペアレントトレーニング」「里親」についての内容で受講者を募集したところ、四十名定員に対して八十名以上の申し込みがありました。予想以上の反響に驚きながらも、県西地域のマンパワーの凄さと素晴らしさを実感しています。それも勤務終了後の十九時から研修会。講師の方からは「受講者の意識が高い」という感想を頂いています。

竹の子学園のような入所施設は職場内だけでの人間関係で完結してしまいがちで、支援に対しての視野が狭くなるという環境下にあります。スキルアップ&ネットワークが、他業種の皆さんからの助言や刺激を受ける機会になる事を願いながら、懇親会では素晴らしい仲間たちと乾杯しています。

夏バテ対策



熱中症とは次の症状の総称を言います。
熱射病・高温多湿の条件下で激しい運動等による。汗をかかず体温上昇。意識混濁などを引き起こす。

熱虚脱・発汗により皮膚に血液が集まり脳への血液が不足。血圧の低下、体温上昇はない。

熱けいれん・発汗により血液中的塩分不足からくる筋肉のけいれん。

以上のことから、暑い所での作業は、こまめに休息、水分はスポーツドリンク(少し薄めて)がお勧めです。体調管理をしっかりして夏ののりきりましょう。(安岡)

夏バテ予防には、日ごろから一日三食の食事をしっかりとる、冷たいものをとり過ぎない、喉が渇く前にこまめに水分補給することが大切です。

お勧めの食材は豚肉、レバー、うなぎ、大豆製品(納豆・枝豆・豆腐など)、野菜、果物などです。疲労回復に効果があります。食欲がないときは量より質で、これらの食材を酢やカレー粉・唐辛子などの香辛料などで味にメリハリをつけて食べましょう。(藤澤)

竹の子
学園

ハイキング

1・2 寮 1・2 寮ハイキングでは大磯・二宮方面に行ってきました。

健脚組・散策組・のんびり組と3組に分かれて目的地の大磯運動公園を目指し歩いてきました。天気にも恵まれ、絶好のハイキング日和でした。辛い時は声を掛け合い、最後にはみんなで美味しい弁当を食べて楽しく大満足なハイキングでした。(真田)



3・4 寮 3・4 寮ハイキングでは「地元を知ろう」ということで、大雄山線を使用し小田原城まで歩きました。昔の小田原の風景を思い出し会話が弾み、楽しく歩かれていました。最後は力を振り絞って階段を登り、全員揃って小田原城前で記念写真を撮ることができ良い思い出ができました。(和田友美)



今年度のケアセンターも、年4回に分け一日レク

レーションを行なっています。5月30日に、買い物外出で、藤沢にあるミスターマックスとその隣の湘南モールフィルに行ってきました。参加者それぞれにCDやDVD・洋服等を購入し、大きなお店を満喫していました。昼食はそれぞれ好きなお店を選んで楽しまれていました。6月5日には、男性9名で鶴巻温泉の弘法の里湯へ出掛け、皆さんと裸のお付き合いをして、親睦を深める事ができました。



今後は、10月に横浜方面の博物館へ行く企画を予定しています。

それ以外にも、楽しい事を企画していきたいと思っています。(林)

竹の子
ケアセンター

ケアレクリエーション

あじさい祭り

竹の子
学園

6月11日から15日の期間で開成あじさい祭へ出掛けました。田園沿いにたくさんのあじさいが咲いており、ちょうど見頃を迎えていました。

あいにくの雨模様の日もありましたが、雨の滴るあじさいも素敵なので「あじさいは青だけじゃないだね。」と散策をしながら口にして利用者の皆さんもいました。たくさん歩いた後は皆さんの楽しみにしているおやつタイムです。

日々の暮らしで四季を感じることをつい見過ごしてしまいがちですが、これからも利用者の皆さんにこのような機会を提供できればいいなと思っています。(横山)



竹の子ホームの利用者さんは老若男女の方々が生活してい

ます。皆さん、スポーツが大好きで様々なスポーツ大会に参加しています。4月はボーリング大会、5月は陸上大会、6月は卓球大会とありました。どの大会もレベルが高く、職員が見ても感動する場面がたくさんありました。陸上は個人優勝、個人2位。ボーリング、卓球大会では個人3位と優秀な成績を残しました。みなさん、日頃から練習していてとても上手です。職員もかないません。全国大会、いやパラリンピックを目指して練習していますので一度練習相手になってください。



これからも竹の子ホームをよろしくお願い致します。(佐藤光夫)

地域スポーツ大会

竹の子
ホーム

利用者の声



楽しかった。
綱引き勝ったよ。

いつもの会場と違って
少し狭かったけど
楽しかったよ。



パン食い競争
楽しかったよ。
パンも美味しかった。

ダンス、太鼓
みんなで踊って
楽しかった。



みんなのつどい

六月十六日、第三十二回みんなのつどいを行いました。今年は、第一生命のグラウンドではなく、小田原アリーナでの開催となりました。初の試みで、利用者の皆さんが楽しめるかとても不安でしたが、怪我も無く、利用者の皆さんはいつも通り張り切ってくださいました。また、運動会らしさを出すために、あらかじめ利用者の皆さんに絵を描いて頂き、それ

を万国旗のかわりにしました。個性豊かな絵が揃い、可愛らしい万国旗になりました。

競技で一番盛り上がったのは、やはりパン食い競争でした。パンを目掛けて一目散に走り出す皆さんの元気な姿が印象的でした。また、北條太鼓やバンド演奏、ダンスタイムも皆さんの熱気に包まれ、大盛り上がりでした。

初めてのアリーナ開催でしたが、皆さんで作り上げたつどいは成功だったかな・と思います。(田邊)

ありがとう

善意の気持ち

寄付

小酒部淳子様

鶴見大学短期大学部様

YMCA健康福祉専門学校様

湘北短期大学様 武蔵野大学様

関東学院大学様

立教女学院大学様

かたつむりの家様 てつぺん様

浦賀社会福祉協議会様

㈱ジャパンビレージホールディングス様

(有) 小田原消毒様

▼招待

四月二十五日に「白梅ライオンズクラブ」様のご招待で、「コロナキャットボウル小田原」にてボウリングをしてみました。活気ある雰囲気の中、皆さん真剣に取り組まれていました。結果、準優勝をいただくことができました。多くの笑顔が溢れ、来年もまた行きたいとの感想をいただきました。
(石井千尋)



共同募金

パン工房ハッピーに「神奈川共同募金会」より助成金をいただき、『ミキサー』を購入いたしました。

毎日美味しいパンを捏ねるためにフル稼働しております。これからも、このミキサーを使ってたくさんパンや焼き菓子を提供していきます。



編集後記

今年も早いもので半年が過ぎました。今夏も猛暑が予想されていて、明星会では利用者、職員ともに、節電を意識しつつ、元気に今年の夏をのりこえていきます。

また、今年はオリンピックキヤーでもあり、面白い話題がどんどん入ってくることを望んでおります。

今年度の広報委員はメンバーが大きく変わり、気持ちを新たに皆さんに楽しく読んでいただけるような竹の子だよりを目指していきたいと思っていますので今後ともご愛読を宜しくお願い致します。(鈴木康浩)

第17回 竹の子祭のお知らせ

日時：平成24年11月23日（金） 午前10：00より

場所：竹の子学園にて開催（雨天決行）

毎年皆さまのご協力・ご参加により竹の子祭も今年で17回目を迎えます。
みなさまとの楽しい交流の場となれますように様々な企画を考えています。
地域の皆さまをはじめ、大勢の方のご来園を心よりお待ちしております。

✳法人紹介 ✳バザー ✳アトラクション ✳模擬店各種

✳外部出店 ✳七宝体験、販売 ✳パン工房販売 ✳手芸品販売

✳農作物販売 ✳陶芸体験、販売 ✳ゲームコーナー

お問い合わせ

竹の子祭実行委員会

TEL. 0465-32-7740

バザー品ご提供にご協力

お願い致します。

歌手：熊谷ひろみさん



テーマ
「なつ」

竹の子日和

絵：H・Misumi
作：M・Suzuki

ボランティア募集

明星会では行事や定期的
にボランティアをして下さ
る方にボランティア登録を
お願いしています。
毎回多くの方々にご協力
を頂き、皆さまのおかげで
学園行事や日常生活が充実
し、利用者もボランティア
の方と会える事を楽しみに
しています。
ボランティア登録カード
に、ボランティア可能日・連
絡先等を記入していただき、
手続きを行なっています。

☆主なボランティア内容

行事・作業補助・入浴支援・

クラブ活動等

☆主な行事予定

十月 スポーツレクリエーション

十一月 竹の子祭

十二月 クリスマス会

お問い合わせはこちら

☎ 0465-32-7740

✉ bora@takenokosakuen.jp

(担当 横山)

